

令和5年度 四国防災トップセミナーの開催

《対面・WEB併用》

ICT化による被災者支援と自治体の防災体制の構築 ～「デジタル技術で大規模災害に備える」～

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

- 開催日時 令和6年1月31日（水）14：30～17：15
- 場 所 高松市サンポート2-1
高松シンボルタワー タワー棟 6階 国際会議場
- 開催方法 対面、Web併用方式での開催
- 参加機関 四国内市町村長、四国南海トラフ地震対策戦略会議構成員
- 参加者数 市町村長65名を含む 合計250名程度（Web参加含む）
※参加者数は1月22日現在
- 主 催 国土交通省 四国地方整備局
- 取材対応 開始から終了まで、カメラ取り・傍聴ともに可能です。
※本セミナーは、報道機関にのみ公開で行います。
- 受 付 報道受付は、国際会議場前で行います。

・この施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局

総括防災調整官

笠井 博之（内線 2119）

○ 防災室長

楠 定晴（内線 2151）

TEL（087）851-8061（代表）、（087）811-8310（ダイヤルイン）

ICT化による被災者支援と 自治体の防災体制の構築

デジタル技術で大規模災害に備える



写真：三重防護が進む高知県浦戸湾

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

プログラム



ICTの活用と震災復興、
そして、防災先導のまちづくり
北海道 むかわ町長 **竹中 喜之 氏**



防災価値と日常価値
～四国の市町村長と共に考える
南海トラフ巨大地震対策の次のステージ～
関西大学 社会安全学部 教授 **奥村 与志弘 氏**

参加者
● 四国内の市町村長
● 四国南海トラフ地震対策戦略会議構成員

令和6年 **1.31** (水) **14:30 ~ 17:15**

メイン会場 **高松シンボルタワー タワー棟 6階
国際会議場** (香川県高松市サンポート 2-1)

サブ会場 **高松サンポート合同庁舎 北館 13階
災害対策室** (香川県高松市サンポート 3-33)

